



## 代わりのいない唯一の任務を担う 〈航空支援集団 飛行点検隊〉

ゲッキーは、飛行点検機のYS-11に乗せてもらったけど、「この日は風が強かったから、とにかく揺れる~」飛行機だ(泣)朝ご飯ちゃんと食べておいてよかった。防衛省・自衛隊の中で唯一の代替のできない飛行部隊であり、言わば日本の空を守っている飛行点検隊。「飛行点検隊員が点検をしているから安全に航空機が飛行出来るというプライドを持って任務にあたっている」ということ「クルーそれぞれがそれぞれの業務を真摯に行い、またそれぞれの業務を行いやくするチームワークが自慢」だとクルーは繰り返し言っていたよ。

この様な環境で仕事をしているクルーを紹介するね。



## 9 フライトクルー

### ☆飛行点検操縦士

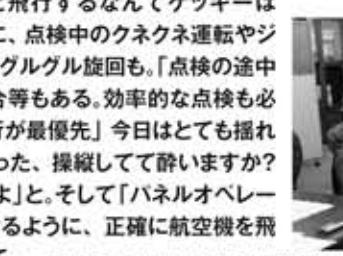
飛行点検操縦士って、凄く忙しい、複合的な業務をするんだって。操縦するだけかと思っていたんだけど、操縦は基本的に副操縦士がするんだ。飛行中の業務としては、まずは飛行点検計画の実行。そのために飛行経路に係る多数の管制機関等と交信をしながら、副操縦士・フライトエンジニア・パネルオペレーター・当該点検施設に係る管制官・管制器材整備員・地上のセオドライタオペレーターらに指示を出したり交信しなきゃならない。さらに地上の管制機関との交信や点検を受ける施設の担当者との交信、飛行点検で入手したデータを解析して、このまま施設を使用して良いかの判定もしなくてはいけない。そして合わせて策敵も極めて重要な業務なんだ。飛行点検操縦士になるためには、その為の資格の取得が必要なんだ。点検時に使用する独特な交信方法も学ぶんだって。



内部点検中の操縦士

### ☆副操縦士

また、副操縦士も操縦をしているだけではなく、管制官と連携して予定通り点検をするためにスケジュールを調整したり、機長の補佐をしたり、点検を効率的に進めなければならない。というより、操縦が普通の操縦とは全然違うんだ。あんな低いところをずっと飛行するなんてゲッキーはビックリしたよ、それに、点検中のクネクネ運転やジグザグ運転、もちろんグルグル旋回も。「点検の途中で計画を変更する場合等もある。効率的な点検も必要だけど、安全な飛行が最優先」今日はとても搖れてゲッキーは酔っちゃった、操縦してて酔いますか?と聞いたら「酔わないよ」と。そして「パネルオペレーターが正確に計測できるように、正確に航空機を飛ばすようにする」だって。



左から坂本3曹(機上電子整備) 桐木3佐(ナビゲーター) 平田曹長(フライトエンジニア) 純浦3佐(副操縦士) 渡邊3佐(飛行点検操縦士、機長、飛行班長)

### ☆パネルオペレーター

パネルオペレーターも飛行点検隊にしかない仕事をするから、資格をとらなければならないんだ。そして、AFISを操作して計測、その結果を機長に逐次報告。着陸後は点検結果のとりまとめをして、機長の報告資料の作成のお手伝いをしたりするんだ。どんな事を意識して業務をやっていますか?の問い合わせに「点検機は、複数の周波数を使用しているから、ボイスを出すタイミング」「電波は目に見えないから、データに動きがある情報は解りやすく短切に伝える」とのこと。

地上で手動計測するセオドライタオペレーター業務の場合には、データの測定や記録、そして測定結果などを無線で機長に逐次報告をするんだよ。そして地上からしか見えない情報、例えばタッチ&ゴーをしている航空機があるよとかも電波に影響するかも知れないから、積極的に点検機に伝えているんだって。



電源 ON の点検中状態

### ☆ナビゲーター

ナビゲーターは、漢字で書くと偵察航法幹部。操縦のアドバイスが出来る様に監視や航法をするんだって。例えば、初度点検などは地点目標を先に見つけたり、近くにいる航空機等をモニタリングしたり、燃料計算もするんだって、ここまで行ったら帰りの燃料がなくなるよとか。直接点検をするわけじゃないけど、一点集中にならないよう色々な面で操縦のサポートをしたいと教えてくれたよ。

### ☆地上の整備員

#### 飛行点検任務をさせる高い整備魂を持つ!

それから、航空機には乗っていないけど、地上の整備員もいる。彼らは、航空機の整備や点検器材の点検等を行っているんだ。使用機数が少なく代替がないことから、整備の重要性がかなり高いんだ。特に、飛行点検関連器材は、ここにしかないから、整備するのが少し大変なんだって。ちなみに航空機については、YS-11の整備は、第2輸送航空隊が行っていて、U-125は自分の所の整備員でもするけど、一部は航空救難団で整備をしてもらうんだ。でも点検器材は自分たちしか持っていないから、全部飛行点検隊で整備をするんだよ。点検の受信機の整備もするんだ、正しく評価するための整備はとても細かく特殊なんだって。



U-125 エンジンの整備中

左から大森曹長(パネルオペレーター)  
米田3曹(同上) 間口2曹(同上)

年末に航空機を磨く整備員と乗組員

## 10 飛行点検要領

飛行点検をする前に、点検を受ける人たちが施設ごとに「データ・シート」等を作るんだって。それには、①出発や進入経路②最終進入区域平面図③器材設置図・設計計算書④最終進入区域の地図⑤航空路の諸元表⑥MVA表【\*3】⑦ビデオマップ表⑧通信機器一覧表等を添付するんだって。点検を受ける施設側の正確なデータも記載されているんだ。飛行点検操縦士は、そのデータ・シートを確認し

て、点検を受ける施設の人たちと細部の調整をきっちり行い、飛行点検計画を作成して、施設の地上勤務員にも手順をしっかりと伝えて点検が始まると。点検中に不具合を見つける場合や点検を続けることが困難な場合は、飛行点検操縦士の判断で点検を中止することもあるんだって。

点検が終わると点検で得たデータや情報を解析して飛行点検関係規則の評価基準に基づき評価をするんだ。それとともに、飛行点検中に遭遇した全ての問題点を施設側と検討ブリーフィングをするんだって。そして、判定を施設に通知し

てから飛行点検隊は帰っていくんだ。そして、ノータム等【\*4】航空情報の発行または取消の必要性についても施設側に通知をし、飛行点検で得たその施設に関する全ての特性等を正確に記載した報告書を作るんだ。そして一連の飛行点検が終わるんだって、1つの点検施設ごとに飛行点検計画の作成から報告書作成まで、長くておよそ1ヶ月掛かる仕事だ。これらは全部飛行点検操縦士の仕事なんだよ。

【\*3】管制官が航空機に指定できる最低高度

【\*4】安全運航のための情報

### 航空機を安全に運航するための最後の砦

防衛省・陸海空自衛隊の中で、唯一の飛行点検という任務を担う部隊であるにも関わらず、その存在は意外と詳しく知らない。その業務内容を正しく理解していないが故に、混雑した飛行場では、飛行点検機は邪魔だなと思われることもあるであろう。

しかし、戦闘機、輸送機、救難機、回転翼機や練習機、早期警戒管制機、政府専用機、対潜哨戒機などそれぞれが重要な任務を持っているが、自衛隊施設を使用する民間航空機も含め、これら全ての航空機を正確に導くための各施設を点検する唯一無二の任務を背負っている飛行点検隊が存在するからこそ、普段パイロットが飛行計器を信頼し安心して飛行できるのである。航空技術が進歩した中でも、現代の過密航空交通環境下においては、飛行点検がなければ、益々安全な航空機の運航は確保できない。

飛行点検任務における、機長である飛行点検操縦士においては、飛行点検に係る様々な知識を身につけて飛行点検計画を作成しなければならず、また他機種とは全く異なる複合的な業務を行う。副操縦士は、通常の航空機とは異なる経路等をあえて飛行するなど特殊な飛び方で点検をする。例えば、真っ直ぐに誘導通りに飛ぶのではなく、あえて電波を無視するかのようにルートをはみ出た飛行によって、その電波の正確性を確認しなければならない。飛行点検データを収集・分析等を行うパネル・オペレーターも機上無線員ではあるものの特技を持っているが、その業務は独自の内容であり、抜群のセンスと教育・慣熟が必要となる。このようなことから、飛行点検に関わる要員の養成には長期間を必要とする。もっと早く養成できるのではないかという声も聞かれるが、それは飛行点検の特性や業務をもっと理解してほしいと思うところである。

ここでは、戦闘機のようにパイロットだけが航空機に乗り込むのではなく、特にクルーで飛ぶというミッションの中で緊密なコードイングが強く求められる。また、決して減らすことのできない点検所を地道に果たさなければならぬ。このような任務を、各人がそれぞれの自分の持ち場を理解して士気高く実施していることで、部隊がまとまっていると痛感する。

飛行点検隊は、今年10月に60周年を迎え、新点検機の導入も予定されている。決して目立ちはしないが、航空機を安全に運航するための最後の砦であり、それぞれの航空機が安心して安全に飛行できる環境を地道に作っていくことが重要である。このような地道な積み上げが国防に繋がるというプライドと謙虚さを常に心の奥底に持つて、着実に任務に邁進していかたい。

約2年前に経験したU-125航空大事故の教訓を踏まえ、志半ばにして亡くなった6名の仲間の遺志をしっかりと引き継いでいきたい。

飛行点検隊司令 吉廣 敏幸 1等空佐

### 点検要領の一例

(イメージ)

PAPI

ARCU

PAPIの飛行方

A B C D

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○